

第 108 回 埼玉県内企業経営動向調査－2019 年 7～9 月期－

調査対象：県内企業 552 社 調査方法：アンケート方式（8 月下旬 郵送回収）
 回答企業：207 社(回答率 37.5%) 業種別内訳：製造業 115 社 非製造業 92 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2019 年 5 月 13 日	109.75	21,191.28
(今回) 2019 年 8 月 20 日	106.56	20,677.22

概況

埼玉県内企業の業況感は、足元やや持ち直しているものの停滞が続いている。今回調査(2019 年 7～9 月期)の業況判断 BSI は、-6 と前回調査(4～6 月期)比マイナス幅が 6 割縮小している。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)はマイナス幅がほぼ横ばいの一方、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)はマイナスから小幅のプラスに転じている。

業種別にみると、製造業では、マイナス幅がほぼ横ばいとなっている(前回-17→今回-15)。

加工組立型業種では、電子部品・デバイス、一般機械が海外需要の減少に加え為替円高による輸出採算悪化などから、マイナス幅が拡大している。一方、素材型業種では、化学・プラスチック・ゴム製品、金属製品の改善からマイナス幅が縮小している。

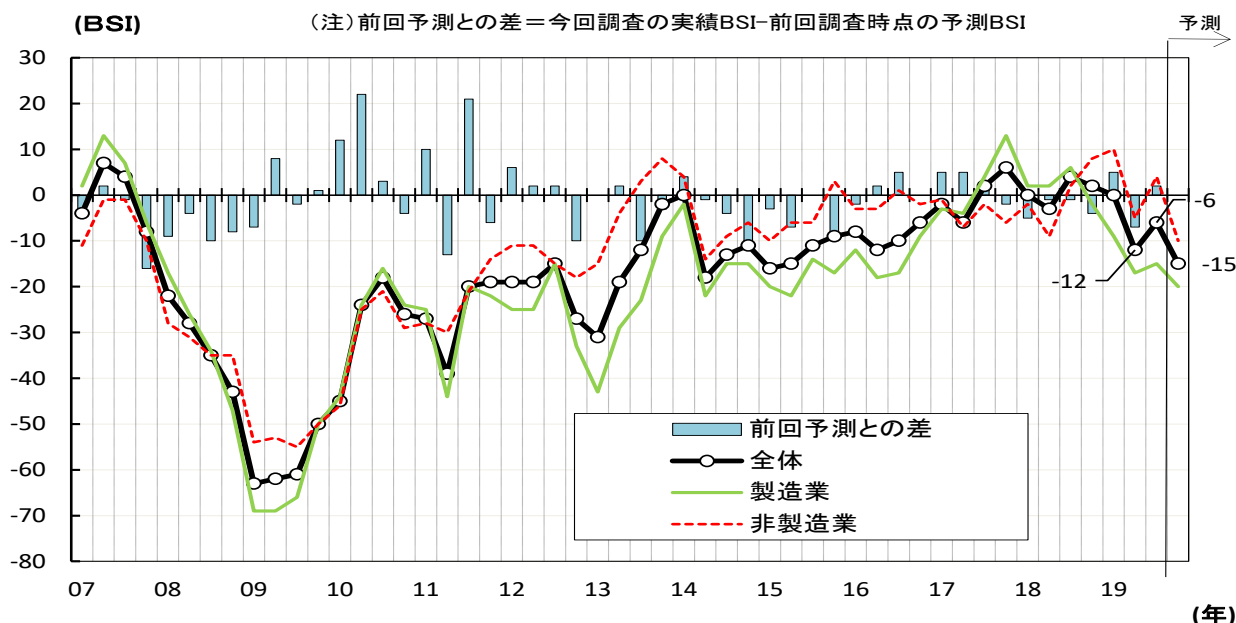
非製造業では、卸売、小売、運輸・倉庫の改善からプラスに転じている(前回-5→今回 4)。

先行き(2019 年 10～12 月期)の業況判断 BSI は、-15 とマイナス幅が拡大する見通し。

業種別にみると、製造業では、電子部品・デバイス、輸送機械、一般機械、金属製品で、長引く米中貿易摩擦や為替円高の影響などを懸念し、停滞が続くとの見方にある。

非製造業では、住宅建設、卸売、小売で消費増税の影響懸念などからマイナスに転じる見通し。

図表 1. 業況 BSI の推移



1. 業況判断 BSI（「良い」－「悪い」） ～マイナス幅が縮小～

埼玉県内企業の業況感は、足元やや持ち直しているものの停滞が続いている。今回調査（2019年7～9月期）の業況判断 BSI は、-6 と前回調査（4～6月期）比マイナス幅が 6 ポイント縮小している。

規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）はマイナス幅がほぼ横ばいの一方、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）はマイナスから小幅のプラスに転じている。

業種別にみると、製造業では、マイナス幅がほぼ横ばいとなっている（前回-17→今回-15）。加工組立型業種では、電子部品・デバイス、一般機械が海外需要の減少に加え為替円高による輸出採算悪化などから、マイナス幅が拡大している。一方、素材型業種では、化学・プラスチック・ゴム製品、金属製品の改善からマイナス幅が縮小している。

非製造業では、卸売、小売、運輸・倉庫の改善からプラスに転じている（前回-5→今回4）。

図表2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2018年				2019年				2019年 10～12月 (先行き)
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	前回予想	
全体	0	-3	4	2	0	-12	-6	-8	-15
規模の小さい企業	3	-2	6	-1	-3	-13	-14	-9	-16
規模の大きい企業	-3	-4	3	6	2	-10	2	-7	-15
製造業	2	2	6	-2	-9	-17	-15	-14	-20
規模の小さい企業	6	0	8	-1	-8	-16	-25	-15	-23
規模の大きい企業	-4	3	3	-2	-9	-18	-2	-14	-16
素材型	6	0	0	0	-13	-16	-6	-4	-17
紙加工品等	9	0	0	-18	-56	8	9	8	0
化学・プラスチック・ゴム製品	0	13	33	0	-13	-13	18	0	9
鉄鋼・非鉄金属	-17	-11	-17	-10	-11	-25	-11	-25	-22
金属製品	50	40	20	30	30	-43	-20	14	-50
その他素材型	-11	-36	-30	0	-20	-20	-27	-20	-27
加工組立型	2	4	19	4	-2	-27	-32	-18	-36
一般機械器具	33	29	42	58	31	-9	-30	-27	-50
電気・情報通信機械器具	0	9	9	-33	-25	-70	-40	-30	-20
電子部品・デバイス	0	-20	45	-9	-22	-36	-88	-18	-63
輸送機械	-17	-27	-9	0	-20	-20	-20	-20	-60
精密機械	-10	29	0	0	29	14	33	14	33
生活関連型	-10	-6	-22	-20	-7	7	-14	-33	7
飲・食料品	20	11	0	-11	13	13	0	0	43
印刷・同関連業	-40	-22	-50	-33	-29	0	-29	-71	-29
その他製造業	0	25	33	-33	-67	0	40	0	20
非製造業	-2	-9	2	8	10	-5	4	0	-10
100人未満	-2	-5	2	0	4	-10	2	0	-5
100人以上	-2	-14	2	15	16	0	6	0	-14
一般建設	6	-6	21	6	11	13	17	19	17
住宅建設	-30	-29	0	-13	14	-14	-17	14	-50
卸売	15	0	0	15	0	-20	0	0	-13
小売	-25	-24	-5	-6	10	-21	-5	-21	-30
運輸・倉庫	0	0	0	33	25	0	13	-22	-13
不動産	9	0	0	43	0	0	0	0	0
その他非製造業	7	-7	-6	-6	13	13	10	13	0

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でマイナス幅が拡大～

非製造業では、住宅建設、卸売、小売が改善している。一方、製造業では、素材型、生活関連型でマイナスに転じているほか、電子部品・デバイスなど加工組立型でマイナス幅が拡大している。先行きは、製造業で持ち直す見通しとなっている。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 19年1～3月期	(前回調査) 19年4～6期	(今回調査) 19年7～9月期	(先行き) 19年10～12月期
全体	-13	-3	-5	8
製造業	-23	-4	-18	9
非製造業	0	-1	11	7
規模の小さい企業	-21	-3	-9	8
規模の大きい企業	-4	-2	-1	8

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でマイナス幅が拡大～

非製造業では、住宅建設、卸売、小売で改善している。一方、製造業では、生活関連型でマイナスに転じているほか、素材型、加工組立型ともにマイナス幅が拡大している。先行きは、製造業を中心に持ち直す見通しである。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 19年1～3月期	(前回調査) 19年4～6期	(今回調査) 19年7～9月期	(先行き) 19年10～12月期
全体	-13	-10	-9	3
製造業	-23	-6	-23	4
非製造業	0	-15	7	3
規模の小さい企業	-20	-10	-15	8
規模の大きい企業	-5	-11	-3	-1

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型でマイナス幅が拡大～

製造業では、素材型でプラスに転じている。一方、一般機械器具、電子部品・デバイスなどの加工組立型でマイナス幅が拡大している。先行きは、製造業で、素材型、生活関連型の減少からマイナスに転じる見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 19年1～3月期	(前回調査) 19年4～6期	(今回調査) 19年7～9月期	(先行き) 19年10～12月期
全体	0	0	1	-2
製造業	-1	-2	1	-5
非製造業	2	5	2	5
規模の小さい企業	-5	1	-1	-1
規模の大きい企業	6	-2	5	-3

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～不足感がやや弱まっている～

製造業では加工組立型、生活関連型で、非製造業では卸売、運輸・倉庫で、不足感がやや弱まっている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 19年1～3月期	(前回調査) 19年4～6期	(今回調査) 19年7～9月期	(先行き) 19年10～12月期
全体	-4	-10	-5	-6
製造業	-2	-7	-3	-5
非製造業	-6	-14	-9	-9
規模の小さい企業	-2	-10	-4	-7
規模の大きい企業	-6	-10	-7	-5

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～強い人手不足感が製造業、非製造業ともに持続～

製造業、非製造業ともに人手不足感が強い状況が続いている。特に、飲・食料品や運輸・倉庫で不足感が顕著となっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 19年1～3月期	(前回調査) 19年4～6期	(今回調査) 19年7～9月期	(先行き) 19年10～12月期
全体	-35	-34	-36	-37
製造業	-25	-19	-21	-23
非製造業	-48	-54	-55	-55
規模の小さい企業	-32	-30	-34	-38
規模の大きい企業	-39	-39	-38	-36

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～総じて緩和～

製造業、非製造業ともに総じて緩和されている状況が続いている。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 19年1～3月期	(前回調査) 19年4～6期	(今回調査) 19年7～9月期	(先行き) 19年10～12月期
全体	8	9	9	8
製造業	5	7	5	5
非製造業	12	11	13	12
規模の小さい企業	2	1	4	5
規模の大きい企業	14	18	14	11

以上